

# 「子どもにやさしい空間」 ガイドブックと研修のご紹介

避難所で、地域で、みんなができる  
子どもたちの居場所づくり

災害はいつどこで起きるかわかりません。  
あなたの**まち**で災害が起こったら？

普段、**学校や保育園、幼稚園、子育ての場**で

子どもたちとの接し方で  
困っていることはありませんか？

子どもとの関わり方について  
学びませんか？



©フジイカクホ  
撮影者：大畑俊男

## 研修に参加した方々からの声

- グループワークを実際にやったことで、緊急時に動けると感じた。
- 緊急時に限らず、いつもの子どもとの関わりにも活かせる。
- 災害1週間では何もできなかった東日本大震災。最初からこのようなことを理解しているといないのでは全く違うと思う。



©UNICEF/2011/N.Imoto



©UNICEF/2011/R.Grehan

### 研修並びにこのパンフレットについての問い合わせ先

災害時こどものこころと居場所サポート  
(saigai - kodomo - kokoro)  
E-mail: saigaikodomokokoro@gmail.com

ガイドブックはユニセフの許諾のもとに作成されており、  
著作権は下記の団体に所属しています。

- ・国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
災害時こころの情報支援センター
- ・公益財団法人 日本ユニセフ協会

## 緊急時にも、日常的にも

日本は災害列島です。  
災害はいつどこで起きるかわかりません。  
災害時、多くの学校、公民館など地域の身近な施設は  
避難所になり、様々な方が避難してきます。  
多くのことが混乱している中で、子どもたちにとって  
「安心」・「安全」な場、子どもたちの日常に近い場を  
どのように整えたらいいのか、どのようなことに気をつ  
ける必要があるかなど、普段から知っておくことが  
大切です。  
また、緊急時のみならず、日常的な子どもの居場所  
づくりや子どもとの接し方などへも様々なヒントを  
与えてくれるものと考えています。

## 「子どもにやさしい空間」を設置 するための6つの大切なこと

- ①子どもにとって安心・安全な環境であること
- ②子どもを受け入れ、支える環境であること
- ③地域の特性や文化、体制や対応力に基づいていること
- ④みんなが参加し、ともに作りあげていくこと
- ⑤さまざまな領域の活動や支援を提供すること
- ⑥誰にでも開かれていること